

2026年度 大学院内部進学選考（発達心理学専攻）

博士課程（前期） 「英語」

（2025年7月5日実施）

合否判定の方法 《専門科目》《英語》《口述試験》

専門科目（200点）、英語（100点）および口述試験（4段階評価）により評価する。

合否判定の基準 専門科目：100点以上、英語：50点以上、口述試験：C以上のいずれも満たすこと。

《英語》（100点満点）

【1】（共通問題）

出題意図

発達心理学および臨床心理学に関する英語の文章を正しく理解したうえで、記載の内容（研究知見）を基に支援内容を考える思考力、言語化する表現力を問う。

正答例

（1）（翻訳問題）

（2）あらゆるタイプの虐待は健康への重大な影響を及ぼすリスクであり、特に性的虐待を除く児童虐待の被害を受けることで、精神障害、薬物の使用、自殺企図、性感染症、危険な性行動などの影響があることが示されている。

（3）児童虐待が子どもに精神障害等の健康被害を与えることを防ぐためには、保護者への介入を通して、児童虐待の発生リスクとなる要因へのアプローチが必要になる。たとえば、ネグレクトのリスクとして、保護者のストレスや保護者の自尊感情の低さが挙げられている。したがって、適切な介入とはストレスを軽減したり、自尊感情を上昇させることができる支援やプログラムが考えられる。たとえば、ストレス軽減のためにショートステイを用いたり、相談機関でのカウンセリングを行うことができる。そのほか、ペアレントトレーニングなどの心理的支援を通して、保護者の子育てへの自信を向上させることを通して、自尊感情を高めることもできると考えられる。これらを通して、子どもが精神障害や薬物の使用等、児童虐待による健康被害を被ることを予防することができると考えられる。

長文出典

(1) Sandra M. Stith, S.M. et al. (2009) Risk factors in child maltreatment: A meta-analytic review of the literature. *Aggression and Violent Behavior*, 14, 13-29

(2) Norman, R.E. (2012). The Long- Term Health Consequences of Child Physical Abuse, Emotional Abuse, and Neglect: A Systematic Review and Meta-Analysis. *PLOS Medicine*, 9(11), 1-31. から一部抜粋

【2】（発達心理学コース）

出題意図

発達心理学の主要領域の一つである知能について、その基本的アプローチの一つを解説した英語の文章を、どの程度理解できるかを問う。

長文出典

Sternberg, R. J., Forsythe, G B., Hedlund, J., Horvath. J. A., Wagner, R. K., Williamus. W. M., Snook, S.A., & Grigorenko, E. L. (2000). Practical intelligence in everyday life. Cambridge University Press. から一部抜粋

【3】（発達臨床心理学コース）

出題意図

発達心理学および臨床心理学に関する英語の文章を正しく理解し、論理的に思考し、読み解く力を測ることを意図している。また、心理学専門用語に関する基礎的な知識を有しているかどうかを問う。

長文出典

Schreibman, L. et al.(2015). Naturalistic Developmental Behavioral Interventions: Empirically Validated Treatments for Autism Spectrum Disorder. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 45, 2411-2428.